

**本の新着情報**



読者  
プレゼント  
詳細は  
p.38へ

**『セルフ・デベロップメント・ゴールズ  
SDGs時代のしあわせコットン物語』**

インド産のオーガニックコットンで作られた製品を基金付きで販売し、基金をインドの綿農家や有機農法への転換費用、現地の子どもたちへの就学支援に使用する「PBPコットンプロジェクト」の12年間をつづけた一冊。このプロジェクトは、一人の社員が社内外の人を巻き込み、SDGsの大きなアクションとなった。持続可能なビジネスの指南書としても読むこ

とができる。JICAインド事務所とのやりとりやJICA職員による寄稿文も掲載。

- 『セルフ・デベロップメント・ゴールズ  
SDGs時代のしあわせコットン物語』  
葛西龍也 著 / 双葉社  
1,760円(税込み)

**『フクシマ 2011年3月11日から変わったくらし』**

東日本大震災から10年——地震と原発事故という二重の災害で、人びとの暮らしはどのように変わったのか。著者は日本で使わなくなったランドセルをアフガニスタンの子どもたちへ送る活動「ランドセルは海を越えて」を支援し、同名の絵本も上梓。2013年からは福島県の小学校で環境問題を考える授業を行いながら取材を続けてきた。甲状腺診

断や学校での放射線授業、放射能汚染の検査、帰還困難地域などの様子を現地の人の話とともに写真と文章で伝える。

- 『フクシマ  
2011年3月11日から変わったくらし』  
内堀 タケシ 写真・文 / 国土社  
1,980円(税込み)



読者  
プレゼント  
詳細は  
p.38へ

**『Q&Aでわかる 外国につながる子どもの  
就学支援 「できること」から始める実践ガイド』**

日本に住む外国人の子どもの不就学はコロナ禍下でさらに深刻化している。本書は小学校教員やNGO職員を経て、すべての外国人の子どもの教育権が保障される社会を目指して活動する著者が、現場で活用できる支援のポイントをQ&A方式でわかりやすくまとめたもの。各地域で行なっている支援事例や、すぐ使えるお薦めの教材なども掲載している。教育関係者だけで

はなく、全国の自治体や外国人の子どもの保護者にも手に取ってほしい一冊。

- 『Q&Aでわかる 外国につながる子どもの  
就学支援 「できること」から始める実践ガイド』  
小島祥美 編著 / 明石書店  
2,420円(税込み)



読者  
プレゼント  
詳細は  
p.38へ

**映画の新着情報**

**『ドイツ映画祭 HORIZONTE 2021』**

「ドイツ映画祭 HORIZONTE 2021」が2021年5月20日～23日に開催される。今年は2019、20年のベルリン国際映画祭受賞作で日本未公開作品を中心にラインナップ。上映作品7本のうち5本は、移民の背景を持つ監督の作品となる。オープニングを飾る作品『未来は私たちのもの』は、ドイツにおける移民系の青年の成長とLGBTQカルチャーを繊細かつポップに描いてベルリン国際映画祭2020ティディ賞を受賞した。

- 『ドイツ映画祭 HORIZONTE 2021』  
HORIZONTE 2021- FESTIVAL DES DEUTSCHEN FILMS

会期：2021年5月20日(木)～23日(日)  
会場：渋谷ユーロライブ  
主催：ゲーテ・インスティテュート東京  
共催：German Films  
チケットは5月1日から販売予定。

詳細はこちら



**JICA横浜(オンライン)**

**日系人が語る  
パラグアイの伝統工芸 4月23日(金)**



- 日系パラグアイ人のわたしと  
伝統工芸ニャンドウティ

日時：2021年4月23日(金) 19:00～20:00  
会場：オンライン上 (Zoom使用)

参加費無料、要事前申し込み。  
詳細はJICA横浜  
海外移住資料館まで。



申し込み、  
詳細はこちら

パラグアイ伝統工芸である、色鮮やかなレース編み“ニャンドウティ”。その普及に取り組んでいる岩谷みえエリナさんは、パラグアイ生まれの日系二世。同国では看護師・助産師として医療に従事していた岩谷さんを講師に迎え、生まれ育った移住地での暮らしや医療従事者の目から見た日系社会、現在の拠点である日本での日系コミュニティ活動やニャンドウティとの出会い、制作の様子などを語っていただく。

**4月27日(火) JICA沖縄(オンライン参加も可)  
多文化共生について語ろう**

さまざまな国の人々が多く住む沖縄県では、国籍や民族に関係なく誰もが安心して暮らせる多様性を尊重し合える取り組みに力を入れている。イベントの前半は県内の外国人材が活躍する企業の取り組みや、外国人との共生に取り組んでいる事例を紹介。後半は会場に集まった参加者でグループディスカッションを行い、今後の課題などを話し合う。

- 沖縄県における外国人材と多文化共生

日時：2021年4月27日(火) 14:00～16:30  
会場：JICA沖縄、またはオンライン上  
沖縄県浦添市字前田1143-1  
(Zoom配信は前半部分のみ)

参加費無料、要事前申し込み(4月20日まで)、  
会場の定員は30名程度。  
詳細はJICA沖縄まで。



成人式に参加したベトナム技能実習生。

**information**

**2021年4月から  
広報誌『mundi』は隔月刊となります!**

月刊誌として発行してまいりました『mundi』は、2021年4月から隔月刊となります。英語版と仏語版『JICA's World』は、今まで通り季刊での発行です。

よりわかりやすく、また、PCやスマートフォンなどからも閲覧しやすい形でのみなさまにお届けできるよう、さらなるパワーアップを図ってまいります。また、新しい楽しみ方としてイベントなども予定しています。

今後もしつそう良質な情報の発信に努めてまいりますので、変わらぬご愛読をお願い申し上げます。

**【4月号以降の発行スケジュール(2021年度)】**

2021年4月、6月、8月、10月、12月、2022年2月  
(英語版、仏語版は2021年4月、7月、10月、1月)

**【定期送本の金額(送料のみ)について】**

定期送本のコースが下記のように変更となります。  
現在：6か月 1,100円(税込み)、12か月 2,200円(税込み)

↓  
**変更後：1年間(6冊分)1,100円(税込み)**

\*これまでに定期送本をご契約いただいている方には残り回数分をお送りいたします。

隔月刊化に関する問い合わせ先 『mundi』編集部：ML\_JICAPR@jica.go.jp